

「」を守るためには 処理工場もいらない!



グリーンコープは設立以来、原発は「生命・くらし・自然」を守るという理念とは相容れない存在であるとし、脱原発を掲げ、これまでさまざまな取り組みしてきました。2003年からは、国の核燃料サイクル計画の一環としてすすめられている青森県の六ヶ所再処理工場本格稼働阻止へ向け、全国の仲間と共に反対の活動を続けています。これまでの反対運動の取り組みについて報告します。

併せて、グリーンコープ共同体で開催された脱原発学習会の講演要旨を紹介します。

目

本は、戦後、急速に工業化し、経済が高成長する中で、必要なエネルギー源として石油、石炭などの化石燃料に依存してきた。しかし、それらは再生不能なエネルギーであり、可採年数があと30年とも、50年とも言われてきた。しかも、日本は資源を輸入に頼ってきた。

そのため、日本は準国産のエネルギー資源の確保を名目に、無尽蔵のエネルギーと呼ばれていた原子力による発電の推進を1954年からはじめた。核の平和利用の名の下にすすめられた原発からは、危険な使用済み燃料(核廃棄物)が排出される。その処理の必要に迫られた。

そこで考えられたのが核燃料サイクル計画(図1)だ。当初は生み出されたエネルギーを永久に循環していく夢のシステムと言われた。1967年に策定、1980年の実用化をめざし、計画がスタートした。

核燃料サイクルの最大の課題は、使用済み核燃料の再処理だった。原発で発生する使用済み核燃料を国内で再処理するシステムがなかったため、再処理を商業的に行っていたフランスやイギリスに委託してきた。再処理してできたプルトニウムの海上輸送については、さまざまな危険性も指摘さ

れた。多くの問題を抱えつつ、現在日本は45万トンものプルトニウムの保有国となっている。

一方、核燃料サイクルの基軸にあつた高速増殖炉「もんじゅ」が1995年、試運転でナトリウム漏れ事故を起こし、計画そのものの問題点が露呈、高速増殖炉を軸とする核燃料サイクルは頓挫した。

使いだのないプルトニウムが核不拡散条約において疑惑を避けるために浮上したのが、プルスーマル計画。直接プルトニウムを軽水炉型原発の燃料に使うというものだ。

国内の再処理工場の問題

核燃料サイクル計画を推進するためには、国内の再処理工場の稼働が必須になる。その工場が1993年より青森県六ヶ所村に多額の費用を投じて建設された。日常稼働している原発からは日々使用済み燃料が排出され、今や、各原発で保管できる限界を超えようとしている。それら全国の原発から集められた使用済み燃料の中からウランとプルトニウムを取り出すのが再処理工場の役割だ。日本で初めての再処理工場は2008年稼働開始予定だったが、相次ぐ事故により、2010年10月開始に延期

された。2006年3月にはじまった試験運転(アクティブ試験)の最終段階である高レベル廃液のガラス固化体製造の不良とトラブルで計画は停滞している。アクティブ試験によって放出された放射性物質が海や大地を汚染しているという報告もある。



阻止ネットの立ち上げ

六ヶ所再処理工場の本格稼働時には、年間800万トンもの使用済み燃料を処理し、その過程で大気中や海中に大量の放射能を放出

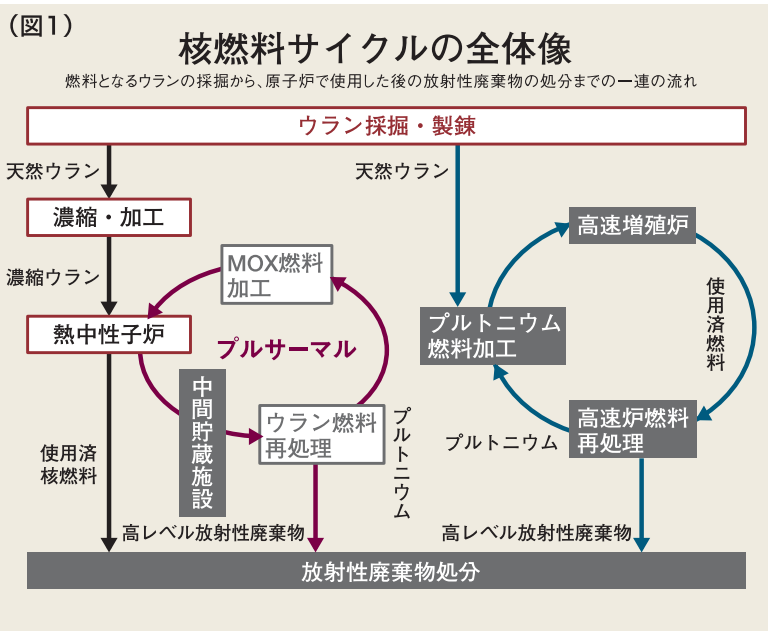
されると言われている。それは東日本全域を放射能汚染の脅威にさらすことになる。そこで六ヶ所再処理工場稼働のめたらず影響に危機感をもったグリーンコープなど全国の仲間が、「豊かな自然、食べもの、そして生命を守る」ために、2007年7月「六ヶ所再処理工場に反対し、放射能汚染を阻止する全国ネットワーク(阻止ネット)」を立ち上げた。再処理工場反対署名活動などの運動を展開してきた。

2008年1月には衆議院議員に向けて院内集会を開催し、国会に約40万筆の署名を提出。2008年6月、「止めよう再処理! 全国集会」を、2009年2月「ストップ再処理市民集会」を開いて、広く市民に呼びかけ、再処理工場の危険性や食べものの安全性を守る必要性をアピールした。しかし、今なお計画そ

継続がたいせつ! プルスーマル反対運動

プルスーマルは燃料にプルトニウムを使用することや使用済みMOX燃料の貯蔵の問題など危険なリスクを伴う。玄海原発の立地地域にあるグリーンコープ生協が「NO! プルスーマル佐賀ん会」に連帯し、地道に反対活動をしている。2009年7月には九州電力に公開質問状を提出した。しかし、「全国の原発のプルスーマル計画が5年延長される中で、他の電力会社同様になぜ延長しないのか」などの質問に対して九電からは十分な回答はなかった。また、「プルスーマルに反対する40万人署名」に取り組み、46万筆以上という多くの署名を集め、佐賀県知事と県議会に提出。同時に「玄海原子力発電所3号機でのプルスーマル実施延期を求める

六ヶ所再処理工場の本格稼働に反対する阻止ネットの活動と連帯しながら、プルスーマルを止める取り組みを根気強く続けていく。



②排出される放射性物質によって青森県の農産物や魚が汚染される

国や日本原燃(株)は、放出される放射性物質は大気や海水により希釈される

私たちの「生命・くらし・自然」 原発も再び



脱原発学習会

2009年度

グリーンコープ共同体組織委員会主催

人類すべてに

かかわる原発問題

—原子力のない社会をめざして—

2009年1月25日、福岡市にて、「脱原発学習会」が開催されました。128人の組合員などが参加し、広瀬隆さんの講演で、原子力発電（原発）の基本的な仕組みや危険性について学びました。講演要旨を紹介します。



広瀬 隆さん

プロフィール
1943年東京に生まれる。早稲田大学理工学部卒。ノンフィクション、小説、翻訳を手掛ける。代表作に『東京に原発を！』『危険な話』など。2009年2月、反原発九州キャラバンを行い九州各地で講演を行う

単純な原理、非効率な発電
ウランにはウラン235とウラン238などがある。ウラン235は中性子をぶつけると100万分の1秒単位で核分裂が起こり巨大な熱エネルギーが生まれる。核分裂しないウラン238は中性子を吸収してプルトニウム239となり、これも核分裂し膨大な熱エネルギーを出す。1945年、約20万人の命を一瞬で奪った原爆。広島に投下されたものはウラン、長崎に投下されたものはプルトニウムだ。この熱エネルギーを、発電に使用すると考え出されたものが原発。

3分の2もの熱エネルギーは海に捨てられ、周囲の海水温を上げ、多くの海洋の生態系にダメージを与えている。
想像をはるかに超える
50年前、当時の科学技術庁の委託を受けて、日本原子力産業会議が「大型原子炉の事故の理論的可能性及び公衆損害額に関する試算」という報告書を作っている。東海原発で事故が起こった場合を想定し、その損失補償に必要な保険について考えるための試算だ。出力16.6万kWの東海原発のわずか2%の放射能が放出した場合の損害は、当時の貨幣価値で1兆円を越え、農業制限地域は1000km以上に及ぶ。あまりにも膨大な損害に保険は適用されないうとなつた。現在、佐賀県

の玄海原発1〜4号機の出力は合計約348万kW、鹿児島県川内原発1〜2号機は178万kW。東海原発の比ではない。ひとたび事故が起これば被害は九州全土に及び、被害額は数百兆円を超えるという。
1970年代、原発事故は2万年に1回しか起こらないと言われていた。しかし、1979年スリーマイル島の原発事故が起きた。原発では最も回避しなければならない、炉心溶融（メルトダウン）だった。その後、1986年には、チェルノブイリ原発事故が起こり、世界中に放射能が拡散。食べものは汚染され、生活の禁止区域は100km四方に及んだ。2009年チェルノブイリ原発事故の犠牲者の追悼式典でのウクライナ政府の発表では、事故処理に当たった作業員2万5千人以上が死亡、公式に事故の被害を受けた人はウクライナだけで230万人以上というものだった。

日本で危惧される地震
1995年の阪神大震災から日本は地震の活動期に入っているとされる。西

放射能の被曝には、体外被曝と体内被曝がある。体外被曝は、原爆のγ線や中性子線を直接に浴びる被曝や、原子力施設での事故による被曝などがある。その被曝量は、放射性物質に身体が近づけば近づくほど、ごく微量でも被曝量は膨大になる。呼吸・食べもの・飲料水により放射性物質を体内に取り入れると体内被曝を受ける。生物の食物連鎖によって濃縮された放射能を取り込むことで、被曝量は体内では著しく高くなり、取り込まれた放射能は排出されない。

のものの見直しには至っていない。
六ヶ所再処理工場の問題点として
六ヶ所再処理工場は、すでにアクティブ試験をはじめているが、トラブルが多い。さらに、本格的に稼働した場合、次のような問題点が指摘されている。
①放出される放射性物質は1日で原発1年分とも言われ、人や環境への影響が懸念される

③海中に放出される放射性物質は太平洋に拡散するのではなく海流により三陸の海産物を汚染する
④放射性物質の中のクリプトンやトリチウムなどは工場内で捕捉できるのに、経費の面で処置されず、そのまま排出されることになっている
⑤施設直下に活断層があり、現段階での想定耐震性では不十分な状況が判明している

め人体に影響が出るレベルにはならないなどと主張。被曝に関した住民への説明も行われておらず、その他の疑問にも明確に回答していない。
しかし一方、地球温暖化防止という理由でその役割を原発にもたせようとする推進側の喧伝はとどまるところを知らない。CO₂削減の方策として原発が本当に有効かどうか、「生命」という視点で根本的に再考する時ではないだろうか。